

# 同窓さふさ

第50号

2016年12月発行  
(平成28年12月)

千葉県立匝瑳高等学校  
同窓会事務局

〒289-2144 千葉県

匝瑳市八日市場イ1630

TEL. 0479-72-1541

FAX. 0479-73-6146

代表：齊藤元久

同窓会報年1回発行☆各家庭に1冊配布☆最新情報はHPへ

夢へスタート  
同窓生



千葉大学・椎名叶絵さん



筑波大学・深堀良幸さん

今年4月に国立大学に入学した、同窓会員の3人。匝瑳高校で培ってきた経験を生かし、それぞれの夢に向かって頑張っています。3人の「大学生となって考える将来の夢」の寄稿は5ページに掲載しています。



島根大学・関勝載さん

# 例総会開かれる

## 元久さん（高24）

平成28年6月26日、匝瑳高校視聴覚室で、平成28年度定例総会が開催されました。新会長に高24回生の齊藤元久さんを選出し、平成27年度の活動報告・決算及び平成28年度予算・事業計画などを決定しました。

じょうりゅう



齊藤 元久 会長  
(高24)

本年度、同窓会長を務めさせていただきます高24回生の齊藤です。創立から93年目となる伝統ある母校の同窓会は、歴代の会長や役員をはじめとした多くの同窓生の皆様の多大な御尽力と御支援により、近隣校には見られないような充実した活動を続けてまいりました。深く感謝いたします。そんな中ではあります。課題はあります。「ヒト」と「カネ」の問題です。

「ヒト」については、本部役員、幹事（年代別）、本部の各部会員への就任者、あるいは本部総会、支部総会、部会行事への参加者が、高齢化し、限定され、少数化しているという現実があります。世代交代が是非とも必要です。この中で要となる本部役員については、63歳の年代が同窓会長及び主要役員を務めることが内規となっております。この点だけは現実があります。しかし、直前の年代の同窓生しか意識し

てもらえず、活動の継続性のためにも、特に50歳以降の方には前向きに協力していただくべく取り組む所存です。

「カネ」については、会費納入の状況が芳しくなく、本部会計は例年200万円程度の赤字で、従前の蓄えを取り崩して運営しています。最大の支出項目「同窓さふさ」の発行を年2回から1回にしてもこのような状況で、このままでは2番目に大きい学枝支援費（両者で支出全体の約8割）の削減も危惧されます。この改善の一助とすべく本年度は「同窓さふさ」へ広告掲載をすることとしました。

我々同窓生は同窓という「絆」で結ばれており、これは切っても切れない縁です。折角の縁、大いに活用し、楽しんではいかがでしょうか。様々なお付き合いでプラスに活かすこともできるでしょうし、同窓会活動の充実には母校の支援にもつながります。課題も抱える同窓会ですが、その発展のため微力ながら全力を尽くす所存です。同窓生の皆様の御健勝と御活躍を御祈念するとともに、同窓会活動を前向きに御理解いただき、これまでより一歩でも踏み出した御協力を賜ることをお願いして御挨拶いたします。

### 平成28年度 役員 (総会時現在)

参 与 関	高木 幸男 (高23) 新	岩井 宏一 新	宮原 実 新	田口 君夫 新	長谷川 茂 新	青澤 晴美 (高32) 新	宮内 千尋 (高57) 新	宇野 典男 (高30) 新	平山 孝雄 (高24) 新	熱田 恒雄 (高24) 新	飯島 美恵 (高17) 新	岩瀬 道治 (高24) 新	萩原 吉春 (高31) 新	伊知地 正一 (高20) 新	工藤 博孝 (高11) 新	加瀬 操 (高17) 新	青柳 泰亘 (高13) 新	加瀬 正彦 (高24) 新	小川 博之 (高23) 新	花香 寛源 (高24) 新	宮崎 晴可 (高15) 新	石井 稔 (高18) 新	勝又 俊夫 (高20) 新	伊藤 雅義 (高24) 新	石毛 理 (高20) 新	堀越 正夫 (高13) 新	勝股 完治 (高24) 新	林 勝美 (高26) 新	齊藤 元久 (高24) 新
	従来の方々に加え	事務長	全日制教頭	全日制教頭	校長									四街道支部会長	海上支部会長	光支部会長	飯匠会会長	野栄支部会長	干潟支部会長	千濁支部会長	京葉支部会長	多古支部会長	横匠会会長	銚匠会会長	旭匠会会長	匝瑳会会長	次期会長		

同窓会の定例総会は、毎年6月の第4日曜日に開催しています。



# 平成28年度 定

新会長に 齊藤

## 平成28年度 匝瑳高等学校同窓会 一般会計予算案

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

収入の部 合計	4,805,000 円
支出の部 合計	4,805,000 円
差引残高	0 円

### 収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
前期繰越金	2,045,498	2,458,254	▲412,756	前年度から繰り越し
会費	1,700,000	1,500,000	200,000	
入会金	1,023,000	1,002,000	21,000	全日制323名 定時制18名
寄付金	30,000	30,000	0	
雑収入	6,502	4,746	1,756	名簿売上、預金利息
収入の部計	4,805,000	4,995,000	▲190,000	

### 支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会議費	550,000	506,000	44,000	総務部・文化部・幹事会・支部総会
事務費	90,000	90,000	0	事務通信費、印刷費
旅費	60,000	50,000	10,000	会務旅費(学校/会長)
慶弔費	50,000	150,000	▲100,000	役員等
振込手数料	20,000	30,000	▲10,000	会費振込手数料
会報発行費	2,800,000	2,800,000	0	印刷費、発送費
補助費	1,000,000	1,000,000	0	母校教育活動への補助
HP管理費	162,864	220,000	▲57,136	ホームページの管理
予備費	72,136	149,000	▲76,864	
特別会計へ	0	0	0	
支出の部計	4,805,000	4,995,000	▲190,000	

### 特別会計

		備考
前期繰越	18,133,193	
収入の部	0	積立
次期繰越	18,133,193	

## 平成27年度 匝瑳高等学校同窓会 一般会計決算書

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

収入の部 合計	7,317,921 円
支出の部 合計	5,272,423 円
差引残高	2,045,498 円

### 収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
前期繰越金	2,458,254	2,458,254	0	
会費収入	1,500,000	1,850,000	350,000	
入会金収入	1,002,000	1,002,000	0	全日制319名 定時制15名
特別会計より繰入	0	2,001,839	2,001,839	千葉興業銀行 スーパー定期 解約
寄付金収入	30,000	1,000	▲29,000	総会懇親会剰余金
雑収入	4,746	4,828	82	名簿売上げ・利子
収入の部計	4,995,000	7,317,921	2,322,921	

### 支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	506,000	440,257	65,743	総務部会・文化部会・幹事会・支部
事務費	90,000	47,648	42,352	事務通信費・印刷費
旅費	50,000	46,500	3,500	会務旅費
慶弔費	150,000	139,000	11,000	役員・母校職員等
振込手数料	30,000	16,990	13,010	会費振込手数料
会報発行費	2,800,000	2,800,710	▲710	印刷費・発送費
補助費	1,000,000	834,650	165,350	母校教育活動への補助
HP管理費	220,000	162,864	57,136	
予備費	149,000	0	149,000	
過払会費返金	0	783,804	▲783,804	
支出の部計	4,995,000	5,272,423	▲277,423	

### 特別会計

(▲印：減、単位：円)

科目	収入	支出	備考
一般会計より	0		会費収入
定期預金受取利息	2,617		千葉銀行/京葉銀行/千葉興業銀行
定期預金預け入れ		0	
合計	2,617	0	

### 財産目録

(▲印：減、単位：円)

		H27年3月31日	H28年3月31日	差額
一般会計	現金	160,348	82,739	▲77,609
	ゆうちょ銀行 当座預金	484,690	317,700	▲166,990
	ゆうちょ銀行 通常貯金	1,813,216	1,645,059	▲168,157
	一般会計 合計	2,458,254	2,045,498	▲412,756
特別会計	千葉銀行 定期預金	3,030,508	3,031,113	605
	京葉銀行 スーパー定期	5,050,034	5,051,040	1,006
	京葉銀行 スーパー定期	5,050,034	5,051,040	1,006
	ゆうちょ銀行 定期貯金	5,000,000	5,000,000	0
	千葉興業銀行 スーパー定期	2,001,839	0	▲2,001,839
	特別会計 合計	20,132,415	18,133,193	▲1,999,222
総資産	22,590,669	20,178,691	▲2,411,978	



平成27年度 事業報告

本部関係

期 日	事業内容	会 場
27.6.28	定例総会 ※会長に關 範雄氏(高23)を選出 ※記念講演「グラフィックアートとの遭遇 ー装丁にはドラマがある」 向後武男氏(高23)	視聴覚室
27.7.4	母校文化祭(蔦陵祭) ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	西城館
27.7.13	第1回文化部会	西城館
27.9.12	第1回総務部会	西城館
27.10.26	シニアゴルフ大会	成田ハイッリー
27.11.26	第2回総務部会	西城館
28.2.6	新年幹事会	梅田家
28.3.4	全日制同窓会入会式 高68回319名	体育館
28.3.5	午前全日制卒業式	体育館
	夜定時制卒業式、同窓会入会式 定62回15名	食堂
28.4.7	午前全日制入学式 普通科235名 英語科40名 理数科34名	体育館
	夜定時制入学式13名	食堂
28.4.22	第3回総務部会	西城館
28.5.9	第2回文化部会	西城館
28.5.18	親睦ゴルフ大会	レインボーヒルズCC
28.5.27	幹事会	西城館
28.6.25	母校文化祭(蔦陵祭) ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	食堂

会報・ホームページ関係

27.6	ホームページ更新
27.12	さふさ第49号発行

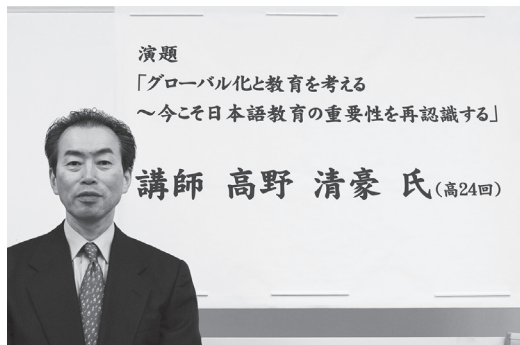
平成28年度 事業計画

本部関係

期 日	事業内容	会 場
28.6.26	定例総会	視聴覚室
28.7.4	第1回文化部会	西城館
28.7.29	第1回総務部会	西城館
28.10.26	シニアゴルフ大会	レインボーヒルズCC
28.11.30	第2回総務部会	西城館
29.2.4	新年幹事会	梅田家
29.3.3	全日制同窓会入会式	体育館
29.3.4	定時制同窓会入会式	食堂
29.4	第3回総務部会	西城館
29.4	第2回文化部会	西城館
29.5	幹事会	西城館
29.5.17	親睦ゴルフ大会	ラフォーレ松尾GC
29.6.24	母校文化祭(蔦陵祭) ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	食堂

会報・ホームページ関係

28.6	ホームページ更新
28.12	さふさ第50号発行



演題  
「グローバル化と教育を考える  
～今こそ日本語教育の重要性を再認識する」

講師 高野 清豪 氏(高24回)

私は大学卒業後、東大病院や虎の門病院で研修し再び東大病院勤務を経て、現在千葉県市の病院に勤務している内科医です。病院は昭和58年の開院で病床数は247で、すぐ近くには柏レイソルのサッカー場があります。私は平成7年から25年まで病院長職にあり、その間に全国で救急患者のたらいまわし事件が話題になった際に、救急を断らない病院ということによって各種新聞やテレビ朝日の報道ステーションな

ドマスコミで取り上げられたことがあります。当院は研修指定病院でもあり、平成16年から毎年研修医を受け入れています。その8名の中に1〜2名の帰国子女が含まれています。10年以上研修医教育に携わってきた最近特に感じることは日本語での対話・コミュニケーション能力の低下です。日本中が英語、英語と騒いでいる間に肝心の日本語学力が低下し始めているのではないかという懸念です。当

院の帰国子女(日本の大学卒業です)の研修医について述べると全員日本語と英語の話者で母語は日本語で、小学校から高校のある時期をアメリカで生活しています。帰国子女の研修医の英語は日常会話レベル(生活言語と呼ばれます)以上ですが、日本語での病歴聴取、要約(サマリー)作成、手紙(紹介・照会)作成、プレゼンテーション(順序立てて論理的に説明)能力(これらを

生活言語に対して学習言語能力と言います)が不十分と言わざるを得ません。バイリンガル研修医を教育してきて、一般に言われているあるいは思われているバイリンガル像は誤解されている部分が多いと思います。実はこの日本語能力の低下はバイリンガルだけではなくありません。一般の医学部卒業生にも当てはまるものです。そのような事態に反し、文科省は大学にはスーパーグローバル大学構想なるものを、そして小

記 念 講 演

グローバル化と教育を考える  
今こそ日本語教育の重要性を再認識する

講師 高野 清豪 氏 (高24)

大学生となって考える  
将来の夢

 千葉大学 文学部・椎名 叶絵 (高68)

大学1年生となった今、私はまだ自分の将来について具体的なイメージを持つことができていません。そのことに対する不安はありますが、1つの分野にとらわれず様々な事柄に挑戦できるという良い点もあると思っています。その点で、日々多様な分野に触れる機会のある大学は最適な環境だと思います。また大学での4年間は、海外留学やボランティア活動など、社会人になってからではなかなかできないような体験をする貴重な時間でもあると思っています。

これらを踏まえ、様々な分野に興味を持ち積極的に活動に参加することで、新しい自分を発見したり自分の適性を知り、将来の夢をみつけることにつなげていきたいです。これは、大学生活における私の目標のひとつです。また、その過程で出会う人々との交流を大切に、普段の授業にも真剣に取り組むことで、将来必要となる力を身につけることを目標に、充実した4年間を過ごしたいと思います。

 島根大学 医学部・関 勝載 (高67)

どの診療科に進むのか、まだ決まっていますが、患者さんとしっかり向き合い、信頼される医師になりたいと思います。

先日、附属病院で医療現場を体験する実習があり、技術や知識は勿論の事、コミュニケーションスキル・英語力の重要性を感じました。大学に入学してから教養科目中心で下がり気味だったモチベーションが、ぐっと回復してきました。

部活(ソフトテニス)での人と人との繋がりを通してコミュニケーションスキルを、授業では医療技術や知識・英語力を鍛え、理想の医師像に近づきたいと思います。

 筑波大学 生命環境学群・深堀 良幸 (高68)

将来の夢はまだはっきりとしていません。教師っていいなとふと考えることもあれば、農業ヘルパーをしながら田舎を放浪するか宇宙飛行士になるとか、周囲の人が失笑するようなことも考えています。

大学生活では勉強はもちろんですが、それよりも幅広い交友関係に期待をしています。多種多様な考えを持つ人がいますし、なにより皆が志を高く持っています。先日私が上述のように夢を語っても、笑うどころか共感してくれる友人がいました。これからは国籍問わず多くの人と関わり合うことで自分を成長させることができればと思います。

学校には英語必修化を押し進めています。スーパーグローバル大学構想とは世界大学ランキングトップ100以内を目指すために文科省が創設したものです。現在それに該当する2大学も国際性(外国人数員の比率と海外からの留学生数)という点でポイントが低く、この国際性を改善するために補助金が得られるというわけです。しかし、大学ランキングは英米が自らに都合の良い基準で作成しているもので、企業や債券の格付けがいかにか実態からかけ離れていいい加減なものかと同様です。実際、OECD生徒の学習到達度調査PIISAでは英米は22か国中下位に甘んじています。大学ランキングは優秀な留学生が多い大学院で求

イントを稼いでいるという構図なのです。今から160年前の明治維新の日本では近代の科学や技術に関する概念や言葉は存在しませんでした。しかし明治時代の日本人は英語を受け入れるのではなく、英語を日本語に置き換えて(翻訳)、日本語を発展させて科学技術を自分のものにした。概念自体がない時代に多くの単語に代表される言葉を造り翻訳文化を推し進めることにより日本語で思考できる環境を整えることができたわけです。西洋文化がアジアに渡って来た時に自然科学を背景とした西洋文明を完全に取り入れることができたのは日本だけです。

今後授業を英語で行う、と宣言している大学が増えていますが、そうなった場合には、高校レベルに水準が下がることは明らかです。社内英語公用化を大々的に掲げている楽天でも「重要な会議は日本語で」行っているのは公然となっています。これでは本末転倒です。小学校英語についても、成人よりも早く日常会話を習得した(これを素晴らしいと誤解している日本人が多い)としても、日本語の学習言語能力が十分に育っていない児童が英語の学習言語能力を得ることは不可能です。益川敏英博士は英語が苦手でもノーベル物理学賞を受賞しています。

今回の講演に際し、以前設置された英語科が廃止になるという話を伺い、尤もなことだと思いましたが、言っている大学が増えていきました。私が言いたいことは英語を学ぶということの意味がないということではなく、この素晴らしい日本語の運用能力をしっかり習得することが最も大事だということなのです。英語だけで人間なら英米に行けばいくらでもいます。生活言語としての英語ならフリピンでも皆使用しています。我々日本人が何を考えて何を発信したいのかということが大切です。T.S. エリオットが言うように、情報があふれている現在、情報と知識と知恵が渾沌としています。こういう時代だからこそ匠磋高校は知恵のある生徒を育てる学校であってほしいと希望するものです。

# 学校だより

## 野球部

野球部顧問 前田 朋彦

昨年度の秋季千葉県大会では、2次予選から勝ち上がり、6年ぶりに県大会出場。県大会では千葉黎明（ベスト8）に、0-3で惜敗。

そのチームで臨んだ第98回全国高等学校野球選手権千葉大会では、47年ぶりにベスト32に進出した。



## 美術部

美術部顧問 伊藤 学史

7月30日～8月1日の2泊3日、「第40回全国高等学校総合文化祭広島大会」に、美術部2年生3名と参加した。全国総文祭は、文化部25部門の全国大会である。昨年の滋賀大

## 県立学校改革推進プランについて

校長 長谷川 茂



同窓会会員の皆様には、平素より母校に思いを寄せていただき、また、物心両面にわたりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県教育委員会が策定した県立学校改革推進プラン・第3次実施プログラムにより、平成29年度に、普通科に「国際理解コース」を設置し、同時に英語科の募集を停止することになりました。

県教育委員会は、「国際理解コース」の設置理由を「グローバル化などの社会の変化に対応し、国際的な舞台で活躍する人材を育成する。」とし、基本的な方向性として次の2点をあげています。

- 1 今後、一層の交流や連携が重要となる中国や韓国など、近隣アジア諸国の文化等を理解するとともに、英語以外の言語を学習する。
- 2 国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力を高める。

これらを達成するために、「国際理解コース」の生徒は、世界史・日本史・地理を全員が学習し、外国語は、全員が学習する英語の他、中国語・韓国語から選択してその基礎を学習することとしました。また、英語科（平成4年4月設置、平成31年3月廃止）が積み上げてきた英語教育及び異文化理解教育の成果を活かしていきたいと考えています。

なお、普通科の生徒は、2年次に「国際理解コース」「文型コース」「理型コース」から選択することになります。

今後も、様々な教育活動の充実を図り、生徒一人ひとりに夢・希望の実現や社会的・職業的自立に向けて必要な能力・態度を育成し、一人ひとりが生涯にわたって輝けるように、教職員の力を結集して取り組んでまいります。

母校の後輩のため、本校の教育活動にお力添えをお願いするとともに、同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

会に続き5度目の出場になる。

広島県立美術館には、400点を超える各県代表の平面・立体作品が所狭しと展示され、高校生のパワーでみなぎっていた。昨年度の滋賀大会には、平面部門に2枚の油絵を出品したが、今年度は、立体部門に陶芸作品を出品するとういう大チャレンジをした。展示場所にあまり恵まれていなかった



が、陶芸で作られた靴たち「十足十色」は、どこも壊れることなく私たちを待っていてくれた。生徒たちは、この作品を作った苦労や体験を一生持ち続けてくれるだろうか。

原爆ドームや原爆資料館を見学することができた。美術に関わり、作品を作ることが当たり前に行ける日常、平和の有り難さを感じずにはいられない。

## 弓道部

弓道部顧問 角田 利幸

平成28年度第35回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会が、9月10日・11日に明治神宮

弓道場で行われた。2年生の霞明花さんが千葉県代表として出場した。

予選  
4射3中  
通過  
準決勝  
4射2中  
敗退



## 陸上競技部

秩父島杯 第69回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 第89回関東陸上競技選手権大会に参加して

陸上競技部顧問 松本 剛史

陸上競技部としては、千葉インターハイ以来11年ぶりのインターハイ出場となった。藤本圭吾君は関東大会以降、怪我もあり満足な調整ができなかったが、その中でもできる限りの準備をして、開催地である岡山市に入った。予選から、レベルの高い競技となったが、セカンドベストとなる56m68で予選12位となり、見事、決勝進出となった。決勝では力を発揮できず、12位であったが匠磋高校として大きな「足跡」になったと思われる。

関東選手権の1500mに出場した宮崎友里花さんは、今年度のインターハイ出場を惜しくも逃し、「必ず入賞する」強い気持ちで臨んだ。予選は余力を残し確実に着順で決勝進出した。決勝でも自分の力を出し切り、8位入賞を果たした。

「文武両道」とは文事と武事、学芸と武芸、その両道に努め、秀でていることを指すと言われるが、常に高い目標をもって何事にも「努める」ことのできる陸上競技部でありたい。



関東選手権（宮崎）



総体（藤本）

## 定時制陸上競技部

8月11日～14日に駒沢オリンピック公園陸上競技場で開催された第51回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会に本校定時制より實

## 27年度卒業生の進路状況

# 国公立大42名合格!

平成27年度卒業生は、進学指導重点校第1期生です。そのため、進路の結果が大変注目されました。(校外外を問わず。)本校としては、従来の一、二人ひとりの希望や適性に応じたきめ細やかな進路指導を基礎に、新たに組織的な進路指導を加味し、充実した進路体制のもとで生徒を教育してきました。

その結果、国公立は、東京外国語大学(1)・筑波大(1)・千葉大(8)・東京海洋大(1)・茨城大(5)・千葉県保健医療大(3)・横浜市立大(1)・神戸市外大(1)など、合計42名が合格しました。この合格数は、6年振りの快挙となりました。浪人生でも、富山大医学部1・島根大医学部1などに合格しました。国公立大の結果がよいと私立大学の結果もよいと言われます。早稲田大(4)を始めとし、学習院大(2)・明治大(6)・青山学院大(3)・立教大(11)・中央大(5)・法政大(11)など、延べ548名の合格者を出しました。

本校では、国公立私立を問わず全国を視野に入れた出願指導によって、よい結果を出してきましたが、これからも、この指導を徹底させていきたいと考えています。

(進路指導主事 前田康晴)

※( )の中は、現役合格者の延べ人数となります。

### 卒業生の合格先数一覧 (延べ人数)

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
国公立大	42	27	31
私立大	548	538	480
国公立短大	1	0	0
私立短大	15	13	10
準大学	0	0	0
専門学校	32	37	42
留学	0	0	0
公務員就職	10	9	6
民間就職	1	0	0
予備校など	35	53	46

### 全日制第68回同窓会幹事

(平成27年度卒業生)

クラス	氏名
A組	小沼礼人
B組	矢部海斗
C組	伊藤綾夏
D組	戸村直暉
E組	岩瀬輝
F組	神崎凌
G組	緑川大地
H組	米井滉太

### 定時制第62回同窓会幹事

クラス	氏名
P組	根本和輝

JRC部は今回推薦をいただき、8月8日から2泊3日、いわき市で行われたサミットに参加した。国内は21都道府県74名、海外はパキスタン、ベラルーシ、ポーランドなど8カ国20名が集った。本校の参加生徒は2年生の小林真尋、小川あかりの2名である。

はじめに被災地視察として、楡葉町をバスで巡った。帰還困難区域との境にあるパレードとその向こう側に見える伸びきった草、野積みされたままの黒いフレコンバッグ、

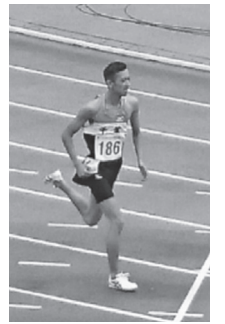
## JRC部

ハイスクール世界サミットin福島に参加して

JRC部顧問 三浦 衛

川將大君が千葉県代表として男子400mに出場した。全国大会という大舞台で、精一杯の力を発揮した。

8月12日 男子400m  
 實川將大(3年次)  
 予選6着 1'02"54



力走する實川君

屋根に被せられたままのビニールシートを目にするも復興が未だに途上であると感じた。今年のテーマは「防災」と「国際親善」である。プレゼンテーションに向けてのワークショップが夜遅くまで行われ、最終日にテレビ局や新聞社などが見守る中、グループごとに討論の成果が発表された。日本語で発表の場合は英語の翻訳がスクリーンに映し出され、英語での発表の場合には日本語の翻訳が映し出された。これも高校生が夜遅くまで翻訳したものである。大震災を経験した者としてどのように語り継いでいくのか、福島の現状をどう発信すべきか、などさまざまな発表がなされた。

今回このような機会をいただき、福島の現状を目にし、また生徒も世界の様々な国の生徒と交流する機会をいただき、たいへん感謝している。はじめは何かぎこちない物言いの高校生が3日目は生き生きと活動し、発言も積極的にしていた様子には驚かされた。わずかな時間でも高校生は大きく成長する。それを目の当たりにした3日間であった。



## 平成28年度教職員名簿

( )は卒業回/※は非常勤/＊は講師

理 科	数 学	社 会	国 語	校 長
田邊 鈴木 瀨川 宮崎 前田 衣幡 林内 齋藤 宇野 松本 押尾 早川 藤田 田村 大木 石嶋 松浦 佐藤 青澤 平山 鶴田 前田 佐藤 宮原 長谷川	英 哲 賢 朋 俊 克 健 俊 英 典 鉄 典 眞 直 利 和 宏 博 清 淳 康 弘 君 茂	等 夫 史 一 彦 介 巳 一 夫 世 平 平 一 志 秋 孝 昭 之 行 奈 拓 乃 美 一 忍 晴 之 夫 茂	英 哲 賢 朋 俊 克 健 俊 英 典 鉄 典 眞 直 利 和 宏 博 清 淳 康 弘 君 茂	等 夫 史 一 彦 介 巳 一 夫 世 平 平 一 志 秋 孝 昭 之 行 奈 拓 乃 美 一 忍 晴 之 夫 茂
養 家 護 庭	石 田 保 太 金 島 森 川 渡 邊 三 浦 伊 藤 高 岡 塚 菅 齊 高 鈴 吉 平 金 松 越 岩 鎌 加 鈴 宮 梅 佐 向	典 敬 子 子 美 代 臣 一 國 治 舞 衣 真 壽 衛 浩 和 之 雅 隆 清 貞 幸 子 幸 史 尚 樹 恭 尚 剛 史 恭 伸 透 豊 文 孝 優 香 千 尋 利 幸 雄 三 輝 彦 仲 志	典 敬 子 子 美 代 臣 一 國 治 舞 衣 真 壽 衛 浩 和 之 雅 隆 清 貞 幸 子 幸 史 尚 樹 恭 尚 剛 史 恭 伸 透 豊 文 孝 優 香 千 尋 利 幸 雄 三 輝 彦 仲 志	典 敬 子 子 美 代 臣 一 國 治 舞 衣 真 壽 衛 浩 和 之 雅 隆 清 貞 幸 子 幸 史 尚 樹 恭 尚 剛 史 恭 伸 透 豊 文 孝 優 香 千 尋 利 幸 雄 三 輝 彦 仲 志
家 庭 栄 養 主 査 養 護 英 語 保 体 理 科 数 学 社 会 国 語 教 頭	向 後 石 田 門 倉 菅 六 宇 宮 高 小 行 奈 岩 岩 新 美 J ウィング	向 後 石 田 門 倉 菅 六 宇 宮 高 小 行 奈 岩 岩 新 美 J ウィング	向 後 石 田 門 倉 菅 六 宇 宮 高 小 行 奈 岩 岩 新 美 J ウィング	向 後 石 田 門 倉 菅 六 宇 宮 高 小 行 奈 岩 岩 新 美 J ウィング
養 護 実 務 手 外 口 有 子	養 護 実 務 手 外 口 有 子	養 護 実 務 手 外 口 有 子	養 護 実 務 手 外 口 有 子	養 護 実 務 手 外 口 有 子

# 支部の話題

同窓会の各支部は、各地区で特色のある活動を行っています。支部総会の場合は、出席依頼を受けて、会長を始め校長、事務局長などが参加しています。

## 京葉支部

### 京葉支部総会

5月21日(土)に千葉京成ホテルミラマールにおいて京葉支部61名の参加のもとに総会を開催しました。

石井会長の挨拶に続き、ご来賓の長谷川茂校長と同窓会長の關範雄氏にご挨拶をいただいた後、議案の審議が行われ、前年度の事業報告と会計報告、今年度の事業計画と予算のいずれも満場一致で可決されました。

### 記念講演「航空管制官の仕事」

講師の江波戸修氏は、高22卒業生であり、国土交通省東京航空局成田航空事務所の専任航空管制官を最後に退官され、現在もその経験を活かして活躍中です。

成田空港と羽田空港という2つの過密化する空域の安全を守る管制官の仕事は、刻々と変わる天候のもとで離発着する航空機に対し、常に迅速で適切な判断による指示が求められるため、管制官は緊張の連続であること、更にチームワークが欠かせないことなど、私たちが普段見ることができない管制塔の写真やデータを使ってご説明いただき、航空管制の重要性とご苦労をよく理解することができました。

また、パイロットや客室乗務員として活躍される同窓生の話も興味深く、講演時間が短く感じたほどでした。

次の懇親会では、春の叙勲で旭日小綬章を受章された堀江はつ氏(前県議会議員、高14)に祝福の花束を贈呈、紫綬

褒章を受章された石橋忠良氏(高18)のご紹介、秋山衛氏の独唱披露など、終始和やかに懇親が行われ、最後に、匝瑳中学校と匝瑳高校の2つの校歌の大合唱で総会が締めくくられました。

京葉支部では、今後の行事として、9月27日(火)久能CCにてゴルフ大会(130名程度の参加見込)を、11月26日(土)には君津・館山方面への日帰りバスツアー(50名程度の参加見込)を企画しました。



## 匝東会(東京支部)

### 匝東会(東京支部)総会報告

4月9日(土)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)において、第18回匝東会総会が80名ほどの参加を得て盛大に行われた。

阿部四郎事務局長(高17)の司会による来賓の紹介に続き、宮崎晴可会長(高15)が同窓会HPの「交流のひろば」による広報の活用、ルノワール美術展鑑賞会の企画、若手同窓生への総会参加募集に際して出席者へ協力をお願い、講演の紹介などとともに開会の挨拶を行う。続いて關範雄同窓会長(高23)から

同窓意識の高まりと日ごとの協力御礼、長谷川茂校長からは母校の現況や進路指導重点校指定の成果など、併せてご挨拶を頂いた。

引き続き第1部総会に先立ち、亡くなられた会員のご冥福を祈り、黙祷を捧げる。宮崎会長の議事進行のもと、活動報告並びに会計及び監査報告等があり、満場一致で承認された。

第2部講演会は「現代技術が可能にする伝統木

造建築」と題し、木内修先生(高17)の講演を頂いた。幕末の大江棟梁・清水喜助を祖とする清水建設から、近代社寺建築の伊藤平左工門12世の門をたたき、社寺建築の技術を現代建築技術の表舞台に登場させた。その足跡を、数々の賞を受賞した伊勢神宮外宮神楽殿や明治神宮神楽殿、大石寺六壺、穴八幡宮随神門などを紹介しながら説明して頂いた。大工技術は明治以来、技術教育の枠外に置かれ、戦後は建築基準法からも外された存在だったという。話が高度で我々素人にはやや難解だったが、宮大工の伝

第18回千葉県立匝瑳中・高校 東京支部 同窓会





統技術を可能にする現代建築技術に感嘆の声が上がった。

第3部懇親会は、6月17日国立新美術館での美術鑑賞会開催の案内と併せ、森幸男副会長（高17）の進行のもと、太田昭吉氏（中17）が「教育勅語」を高らかに吟唱し、89歳とは思えない気合の入った乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。

大塚栄一・鈴木勝彦さん（高18）、鈴木廣行・鎌形豊さん（高25）、同窓会事務局来賓としてお出で頂いた宇野典男さん（高30）ら若手参加者を紹介する。中野幸子・大橋正子両幹事（高8）による、外れくじ無しのお楽しみ抽選会で大いに盛り上がった。

最後に「至誠剛健快活の精神は常に高鳴りす」と、匝瑳高校の校風と伝統を声高らかに合唱し、母校の益々の発展と同窓各位のご健勝を祈念し、抽選会の銘酒、銘茶、多古米、そはつゆ、落花煎餅等を手土産に散会した。90歳に手の届かんとする長老の気迫に圧倒され、70歳に満たない若手が元気を頂く有り様だった。

須郷隆雄（高17）  
ルノワール展

6月17日に、匝瑳高校同窓会東京支部主催の美術展見聞イベントが実施され、遠く匝瑳市周

辺からの来訪者もあり、21名が参加して国立新美術館で開催された「ルノワール展」を見学しま

した。鑑賞後には同美術館の3階研修室に集合し、作品についての意見交換や参加者有志の美術活動の報告などについて、活発な意見が交わされました。この企画は、支部活動の一環として、かねてより要望の多かった美術展鑑賞を基軸に、会員同士の研鑽と親睦を計る目的で、当支部として、この種のイベントとしては初めて実施されたものです。参加者からは良い企画だったとの声が寄せられ、次回開催が期待されています。匝東会副会長 碓 穹一（高15）  
遺稿 11月20日 ご逝去



## 四街道支部

### 四街道支部同窓会第18回総会開催について

7月3日（日）10時30分から四街道市文化センターにおいて、四街道支部同窓会第18回総会が開催された。

母校から長谷川茂校長、母校本部から岩瀬道治総務部長（高24）、宇野典男事務局長（高30）が出席され、支部会員38名参加のもとに母校及び同窓会の近況について報告があった。

鈴木廣行氏（高25）から、次期同窓会副会長紹介の挨拶があった。

総会では、工藤博孝議長のもとに、支部の活動報告並びに新年度事業計画の報告等が承認され、会長には工藤博孝氏（高11）が再任、副会長に宮田省一氏（高13）、伊橋宏氏（高14）、事務局に金杉理氏（高17）会計に小山健氏（高10）、会計監査に島田啓蔵氏（高15）が再任承認された。総会終了後、「多古線の哀愁」と題し、中学19・20回（昭和21・22年卒業）旭市出身の松井安俊氏（旭中央病院審査委員）の講演会が開催された。

「多古」は「多湖」であつて、ここに「クジラの骨」が発掘され国立博物館に保存。また飯高檀

林は約1,000人の学僧が修行していた。

明治44（1911）年成田く多古間（軌間600mm）開通、昭和3（1928）年1,067mmに改軌された。大正15（1926）年多古く八日市場間（軌間1,067mm）が開通した。その後、昭和19（1944）年1月11日全線休止。太平洋戦争が激化し、インドネシアのセレベス島に、国策として供出させられたが、利用されず所在不明となった。

最後に、「こうした会に気力を持って、体力を使って参加し、絆を深めることこそ、「ベッドでおむつの人生」を経験しなくても良い人生を送ることが出来る。」と話され、講演会は終了した。

続いて島田啓蔵氏（高15）の絶妙な司会のもとに、懇親会が行われ、それぞれ出席者全員の近況報告などに話も弾み、久古榮二氏（高5）、金谷貞夫氏（高6）、宮崎晴可氏（高15）、玉澤宏氏（高15）等も話され、最後に石田實氏（高2）は、腹の底から大きな声が出るのは健康の秘訣と、詩吟と民謡を披露された。懇親会も皆さんとともに、和やかなうちに終了した。

四街道支部会長 工藤博孝（高11）



## 千潟支部

### 千潟支部総会を開催

8月20日、匝瑳高校同窓会千潟支部総会が旭市萬歳「嘉儀屋」に於いて、齊藤同窓会会長、宇野事務局長にご臨席を賜り開催されました。

会員25名出席し、新会長に江波戸一治氏（高26）が選出されました。

# 飯匠会

## 支部総会及び支部の活動

飯匠会総会は、5月21日（土）に「幸喜」にて開催されました。参加者は16名、来賓として同窓会副会長の齊藤元久氏並びに田口君夫教頭のご出席をいただきました。平成27年度の活動としては、入学生8名及び卒業生14名に記念品を贈呈し、葛陵祭PTAバザーへの協力として会員46名から298点のご協力をいただきました。

飯匠会会長 加瀬正彦（高24）

# 旭匠会

8月27日、旭市の旭楼旅館にて、旭匠会総会が開催され、堀越正夫氏（高13）が会長に再任された。総会后、増田眞一氏（高12）により、「二人の母」の演題で講演があった。以下、その概要である。

二人の母と云うと、生みの母と育ての母のように思われますが、ここでの二人の母は妻の母（義母・満寿代）と私の母（はる）のことです。

義母は明治41年3月生まれの

108歳。母は明治42年3月生まれの107歳。

共に施設に入所しておりますが健在です。このように長命なことも驚きなのですが、その経歴も、まるで判で押したように似ていることにも驚かされます。

二人の母は、旧香取郡で教育に関わりの深い家庭で生まれ、千葉女子師範学校を卒業後、終戦間近まで小学校の教員をしておりました。早期退職後は農業に従事しながら、地域の婦人会活動や教育委員民生委員等に携わりました。そして共に、100歳を過ぎてから自宅で大腿骨を骨折し、入院、手術、その後施設に入所し現在に至っています。

このような経歴以外にも、性格や日常生活スタイルでも似た所が多く、それらをまとめてみると、長生きの秘訣が分かるように思います。幾つかをあげてみます。

（その1）ストレスがないこと。二人共性格が楽天的でマイペースです。

（その2）持病がないこと。大腿骨を骨折するまで入院したこと



がなく、多少の病気をしても回復が早かったようです。

（その3）規則正しい生活をする。早寝、早起きで、三度の食事もしっかりと食べました。

（その4）適度の運動をする。よく歩いたり、花壇の手入れや畑仕事をしました。

（その5）趣味を持つ。特に読書は良くしました。本が読めなくなつてからは、新聞を良く読みました。

（その他）社会的に関わりのある仕事を多くしたせいか、施設で大勢の人の中でもうまくやってこられました。

さすがに最近では、共にいろいろな所（特に精神的）に障害が出てきましたが、これからも元気で長生きして欲しいと願っています。

増田眞一（高12）

## 支部事業

### 平成28年度 計画

期日	事業内容	会場
28.7.3	四街道支部	四街道市文化センター
28.7.9	匝陵会豊和支部	石毛ドライブイン
28.7.10	匝陵会匝瑳支部	内山屋
28.8.20	干潟支部	嘉儀屋
28.8.21	野栄支部	望洋荘
28.8.27	旭匠会	旭楼
28.9.11	光支部	町民会館
28.9.25	匝陵会吉田支部	紫季
29.4.15	匝東会	
29.5	京葉支部	
29.5	飯匠会	
29.6	匝陵会総会	
29.6	横匠会	
	多古支部	
	海上支部	
	銚匠会	
	匝陵会豊栄支部	

### 平成27年度 報告

期日	事業内容	会場
27.6.12	匝陵会匝瑳支部	吾妻庵
27.7.5	四街道支部	四街道市文化センター
27.7.18	匝陵会豊和支部	石毛ドライブイン
27.8.22	旭匠会	旭楼
27.8.23	光支部	町民会館
27.8.23	干潟支部	嘉儀屋
27.8.23	野栄支部	望洋荘
27.9.20	匝陵会吉田支部	紫季
28.4.9	匝東会	アルカディア市ヶ谷
28.5.21	京葉支部	ホテルミラマーレ
28.5.21	飯匠会	幸喜
28.6.10	匝陵会総会	吾妻庵
28.6.18	横匠会	富士屋



# 集い

## \*つたの葉会

9月25日(日)に10回目の「つたの葉会」を開催しました。この「つたの葉会」は、看護系(医療・保健・福祉・教育)の同窓会です。このような同系の職種による高等学校同窓会は全国でも珍しいと思います。

看護系の進学者は、約5000名います。取りあえず県内を中心に呼びかけました。種々の顔(元国会議員、元大学院教授、現社会福祉法人理事長など)を持つ外口玉子氏(旭市出身・高8)に顧問を



お願いし、毎年参加していただいています。ある時は、岐阜県立看護大学学長だった平山朝子氏(高6)にご講演をいただいた事もありました。

平成28年卒業者に看護系の進学者が30名いたとの説明に心強く思いました。

今回大きな話題になったのは、最近の保健医療福祉の動向や看護職員確保の問題(早い段階での動機づけ)、卒後教育についてでした。少子高齢化や高度医療の中、保健医療福祉に優秀な人材がますます重要になっていきます。

この会での交流の結果、一つの活動がスタートした事もあります。今回は活発な意見交換ができた。今回も活発な意見交換ができた。来年もお彼岸の頃に予定しています。参加希望の方は、同窓会事務局に是非お問い合わせください。

## \*体育部

体育部の活動と16回シニア大会の報告  
体育部の主たる活動は、会員同士の親睦を深めるゴルフ大会の企画と運営です。

毎年秋のシニア大会、春の親睦大会を実施しております。これまでも同伴者を同期生同士で組むなど、気軽に参加できる配慮がされており、毎回120名程の参加者が盛会に行われています。

今回、10月26日(水)にレインボーヒルズCCで行われた第16回シニア大会では、好天の秋空の下、

115名の参加を得て、楽しい大会とすることができました。

表彰式では、冒頭に会費の一部を母校への支援金として贈呈させていただきますました。また、来賓として参加いただいた高14回卒の匠瑛市長太田安規様より同窓会活動への賛辞をいただくとともに、競技委員長の日下英義氏からは、「あるがままを受け入れそれに対峙していくのがゴルフというスポーツ」と、ゴルフの神髄にもふれたお話を伺った後、和気藹々の中で表彰式を進めることができました。

大会を盛り上げていただいた参加者の皆様、多くの協賛品やご芳志を頂戴した皆様、そして準備・運営に携わっていただいた24回生の皆様に深く感謝申し上げます。

今回のシニア大会の結果は下記の通りです。また、来春には第21回親睦大会を次の期日で予定しております。多くの会員の参加をお待ちしています。

渡邊千恵子(高18)

匠瑛中・高校同窓会  
第16回 シニアゴルフ大会



期日：平成29年5月17日  
会場：ラフォーレ&松尾GC

シニア大会成績(敬称略)

◎ネットの部

優勝：勝又美代志(高24)  
準優勝：熱田 恒雄(高24)  
第三位：佐久間邦彦(高25)

◎ベストグロスの部

総合：関 進一(高30)  
シニア：萩原 英俊(高15)

体育部長 熱田恒雄(高24)

## \*文化部

茶道部

匠瑛高校の茶道部は、表千家のお茶を学んで70年近い歴史があります。前任の中山先生から引き継ぎ、今に至ります。

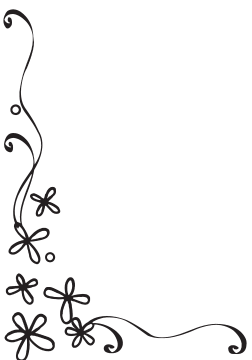
戦後、匠瑛高校も共学になり第1回女子入学者も部員となりました。過日蔦蔦祭にお見えになった折、昭和23・24年頃は用務員室でお茶の稽古をしたこと、文化祭では家からリヤカーで畳を運んだこと、など懐かしく話してくださいました。風呂釜も卒業生がくださったようです。

また、立礼卓も70周年記念で同窓会よりいただきました。立礼だど、お客様も生徒たちも気軽に茶席に足を運んでくれます。これをきっかけに茶道に興味を持っていただければ幸いです。

同窓会総会では、呈茶席を催しております。足をお運びいただきたく記事としました。今回は、「茶道部」の話だけになりましたが、

次号以降で他の活動状況もお伝えします。

文化部長 飯島美恵(高17)



# 同期の話題

今年も同期が集う同窓生たちの情報「同窓さふさ」編集委員会へ寄せられました。今号では「中18回生米寿の集い」、「匝瑳21・1同期会」「匝三会」の寄稿を紹介いたします。

さふさ原稿は13文字32行が基本となります。同窓生皆さんのお便りをどしどしお寄せください。

## 米寿の集いを開催

中18回 土屋 嘉彦

8年前、傘寿を迎えた中18回生は、黄泉の世界に招かれる者が多くなったので、旧友と疎遠になることを懸念した市原敏男君が、原稿を募り「18回卒業生便り」を発行しました。

今年の第13号は、米寿の集いの特集号の企画が持ち上がり、集いの開催については山匠一八会が主催者となつて開催することになりました。

5月17日、ばんどう太郎横芝光店を会場に、約50人に案内を送り、11名の参加で開催しました。(参加回答は当初、13人でしたが2名減)

当日の天気はあいにくの雨。開会の言葉は小川知至君で、終戦2か月前、土浦航空隊が空爆に遭い、280余名の予科練隊員が犠牲になつた中、九死に一生を得た体験談の披露があり、続いて、鶴之沢会長挨拶後、米寿の宴へと移りました。顧みれば、入学時の昭和16年は、日支事変たけなわであり、8か月後

には大東亜戦争へと戦局は拡大しました。

当時の岡部定校長は、朝礼の壇上で、「撃ちてしまん」の開設をされ、学校は今後、戦時教育の体制に入る旨の訓示をされ、生徒は干潟、横芝、豊成の各飛行場への奉仕作業、大利根用水及び第二運動場新設のもつ担ぎ、交替で日曜日ごとの旧平和村修練農場の作物の栽培作業、出征兵士宅への援農等、まさに半学半労の学校生活でした。

さらに、4年1学期終了時、授業打ち切りが通達され、鶴見ヨット工場への勤労働員、特幹・予科練への軍隊志願組と、学年は分断の憂き目に遭い、前渡は不透明の一途をたどるのみとなりました。

私が予科練入隊時「学校即戦場」と書かれた越川清先生の寄せ書きが当時の情勢を如実に表現したものと受け止めましたが、今回の参加者も、あの激動の学校生活は深く脳裏に刻みこまれており、鮮明な記憶となつて甦り、懐古談に花が咲きました。

有意義な米寿の集いが実現し、こ

の喜びを共有できたことは何よりの幸せですが、反面、不参加者への寂寥の感は一入深いものがありました。参加者からは、卒寿の集いの要望が出たので、実施に向けて検討することになりました。今夏は不参加となつた同期の諸君も、次回は躊躇せず連絡をくれるようお願いいたします。

参加者

市原敏男、見世川弘治、渡辺三雄、菅谷敏夫、疋田文雄、鈴木茂昭、小川知至、武田定夫、鈴木二郎、鶴之沢正夫、土屋嘉彦

以上11名



## 匝瑳21・1同期会

高1 大関 正

匝瑳中学校21回(S23年3月卒)、匝瑳高校1回(S24年3月卒)の24回目の同期会が、平成28年5月29日(日)八日市場「梅田家」を会場に開催された。今年の当番幹

事は山武地区である。今年も天気に恵まれ半袖にクワイ使用という状況の中の開催となる。

今年の物故者は当初3人で昨年の1/3だと喜んでいたら、出席者からの情報で更に2人が亡くなつていて、物故者の累計は105人、生存者が76人になってしまった。86歳という年齢を考えれば仕方ない事かもしれないが寂しくなつてきた。

昨年の出席者が3人減り、欠席者から7人が参加する予定だったが、直前2人不参加となつて昨年より2人増の19人の開催となつた。

定刻前に全員揃い3時25分土屋壽さんの司会・進行で記念撮影、物故者の冥福を祈つて黙禱、代表幹事から経過と近況報告の後、大和義則さんの音頭で乾杯し宴に入る。

19名中昨年と同じ人が13名、2年ぶりが6名とすっかり常連化した顔ぶれだが、近況報告や様々な情報交換と話題に不足はない。が、以前ほど席をあちこち動いて話し込む景色は少なくなった。

のど自慢も昨年来なかつた萩原勇美さんと宮島弘平さんが頑張つてくれたが、軍歌の山本秀夫さんが歌わず一足早く退席してしまつたのは意外でもあり淋しくもあった。

今年も午後5時を過ぎるとお迎への家族がチラホラ…。有り難い事だし幸せな事である。櫛の歯が欠けた様な席が目立ってきたので5時30分一応閉会とする。

来年は数えの88歳「米寿」である。自信はないが何とかその節目を乗り

越えたいと願ひながら解散する。次回は平成29年5月28日(日)、旭地区当番での開催予定である。一再会を!!

最後に新物故者として吉野昭吾、瓜生滋、伊藤光雄、伊藤哲、押尾操を含め、105名の御冥福を祈つて報告とする。

平成28年度  
匝中21回・匝高1回卒業生 同期会  
2016(平成28)年5月29日(日)  
匝瑳市「梅田家」

飯島 崇智	並木 達雄	片岡 工	林 秀夫
土屋 壽	内田 裕雄	根本 薫	福岡 正夫
大和 義則	萩原 勇美	高橋 一男	山本 秀夫
千本松和徳	宮島 弘平	石橋 清	大関 正
椎名 素夫	角田 利夫	向後 忠	

〔計19名〕



# 匝三会(高三回卒)

## 懇親会 報告

幹事代表 小泉 泰清

平成27年11月7日天候薄曇のもと、八日市場万町の梅田家にて傘寿を記念して匝三会を催した。

参加者は23名で姓名は次の通りである。

石川勇君、伊藤昭雄君、梅原一郎君、太田弘君、尾上智子さん、海保和夫君、川口徳治君、桑垣伝裕君、小泉泰清君、越川正巳君、小林廣道君、土屋 雄君、佐久間健君、佐藤米吉君、鈴木茂陽君、高橋瑛君、高橋幸子さん、高橋四郎君、田中武範君、林昭君、菱木昭雄君、山崎省吾君、古川俊夫君に、高橋幸子さんの付添として息子さんのお嫁さん。以上で、和気藹々の中に懇談して有意義にすぎた。正午より午後2時頃まで。



今回は会員の老いも深まり集まるにも大変と思われるので、今回限りと述べたが、せめて5年後の米寿まで続行しては、の声あり都合によっては引きつづいて予定とした。

### OB 寄稿

## 私の匝中時代

神戸商科大学名誉教授

秋葉 博 (中21)

私が匝瑳中学に入学したのは、日本が敗戦し、軍関係の仕事をしていた父は失業し、日本の将来がどうなるかわからないときである。東京の家は焼失し我々家族はやむを得ず、香取郡多古町千田の伯父一家が暮らす父の生家の納屋で生活を始めた。

多古町千田はバス停から約1里離れた僅か5、6戸の農家が暮らす小集落で、当時は電気がなく、ランプ生活である。収入がなく僅かな貯金を取り崩しての生活だから、ランプも小さなもので勉強などできたものではない。それでも私は匝中に通わせて貰ったのだから、感謝しなくてはいけないのだろう。

さて、冬にはまだ真つ暗なうちに家を出て農道を歩き、多古の停車場から匝中までバスで通うのである。敗戦直後とあって、多古線のバスは極のような堅い木の枝を10cm位に切った薪を燃して走る。だから薪の乾燥が悪く、火力が低下するとバスはすぐエンコしてしまう。そうなる

エンジンが再稼働させる。エンジンのかかりが悪く「学生、押してくれ」といわれることも当たり前であった。

このような状態だから、多古線通学者は、授業の2、3時間目にこのこと授業中の教室に入っていくのも珍しいことではなかった。また授業が終わるとバスの始発駅となる八日市場の駅まで歩き、そこでバスを待つのである。学生が多数溜ると臨時を出してくれるが、その場合はほとんどトラックである。後には雨避けにした車もできた

が、殆どの場合は裸の荷台である。一度、荷台の枠が外れ、女学生が3人地面に落ちたことがある。3人ともすぐバスに乗り込んで、ことなきに終わった。また、車掌など乗っていないから停留所の案内など全くなく、降車する場合には運転席の屋根を叩くのである。

家に帰ればランプ生活だから、勉強などできたものではない。僅かな宿題は教室で終えてから学校を出たのだろう。その後、伯父との関係が悪くなり、南借当に越したが、ここでも1

部屋の間借り生活、バス通学に変わりなかった。

なんとか中学5年を卒業することができ、匝中が切り替わった匝瑳高校の3年に進学するという方法もあったが、母方の叔父の家から山梨工専に通えることあって、とりあえず入学してみたら、授業に全く興味が持てず、夏休みに入ると同時に退学してしまう。

この頃、東京の会社に就職、アパートの1部屋を借りて生活、姉もそこで暮らして洋裁店に勤めるようになった。先のこと何も考えずに退学し私もその部屋に入り込んだが、その年にできた新制大学受験資格認定試験に合格し、翌年の春、なんとか東京工業大学に入学することができた。父は東京に小さな家を建て、母と妹も呼んでようやく家族5人が1つの家で生活できるようになった。

現在は85歳、老人ホームでやや退屈な毎日を送っている。

(付記)

余計なことであるが、私の肩書にある神戸商科大学は、現在存在していない。同学は私の定年退職後、姫路工業大学、兵庫県立看護大学と合併し、新たに兵庫県立大学となったためである。

国道126号 駅前交差点

八日市場 駅前ホール

匝瑳市八日市場イ113  
Tel 0479-73-5321

株式会社 荒井

http://www.ekimaehole.co.jp

野栄総合支所前通り東

野栄ホール

匝瑳市野手2235  
Tel 0479-67-5353

高13回 荒井 淳一



眠りの専門店

わたしん

〒288-2516 千葉県旭市口の447番地  
Tel 0479-63-6777 Fax 0479-63-6792

取締役会長 片山 勲

高13回

since1866

150

おかげさまで  
創業150周年

## 郷土の詩人

## 高橋順子(高15)講演会を開催

2011年3月11日に発生した東日本大震災で旭市飯岡地区は最高7.6mの津波に襲われ16名の死者、行方不明者を出すなど大きな被害を受けました。

詩人として活躍している高橋順子さんの実家も大きな被害を受け、2014年に出版した詩集「海へ」で被災した古里への思いを綴り、藤村記念歴程賞、三好達治賞を受賞されました。このことは同郷の私たちに喜びと勇気を与えてくれました。これを機に「高橋順子を囲む会」を設立。

今年2月27日、東日本大震災5周年記念チャリティ高橋順子講演会を東総文化会館で開催しました。祈念式典の他、小中高校生の詩の朗読やコーラス、紙芝居等が花を添え会は大成功。15回生の同期の方々が企画運営に協力し、遠方からも大勢駆けつけてくださり、高橋さんや匠高生の朗読に盛大な拍手を送っていました。その席上、町の復興を祈念し、文芸の力で希望を与える言葉が生まれ、地域の絆が深まることを願って、高橋さんを審査委員長とする「旭いいおか文芸賞」の設立が承認されました。

その後、6月5日に文芸賞の募集要項発表会を開催。

高橋さんは「300年前(元禄津波)を忘れたゆえの悲しみだった。データを保存しておくだけの備えには限界がある。言葉にして語り継ぐことが大事」と語りました。

9月から作品(詩、エッセイ、定型詩)を募集。作品発表会(本審査会)を来年3月4日(土)旭市の東総文化会館において開催します。同窓会の皆様ぜひご参加ください。

(詳細はHP NPO光と風)

高橋順子を囲む会副会長

石田禮子(高15)



高橋さんを囲んで  
朗読発表の工藤美月季さん(写真左)と大島咲希さん

## グローバル人材プロジェクト事業 ～国際理解推進のための講演会

11月17日(木)グローバル人材プロジェクト事業の一環で、グーグル執行役員の仲條亮子氏(高39)による講演会が行われた。

演題は、Grow Yourself。

匠瑛高校卒業後の社会体験をベースとした話題であった。『私に関する Quiz』で生徒を引き込み、巧みな話術で講演は進んだ。

ハーバードビジネススクールで過ごした教室や狭い個室と広い共同生活の場を写真を交えて紹介された。学びの場がコラボレーションやディスカッションを誘導する環境であり、そこで変化や成長をされた仲條さんの様子が目に浮かび、ステップアップするためには環境が大切であることを再認識させられた。

グーグルがイノベーションし続けられるのは何故か。

- ①完璧を求めない
- ②不可能への健全なる挑戦
- ③アイデアはどこからでも生まれる

など、これからの社会を生き抜く後輩達には参考になる

### 仲條 亮子 氏 (高39)

ものであった。多様な考えがイノベーションを創る、そんなコンセプトが伝わってきた。

ここで、本日の演題。

今生きているという奇跡に感謝し、その命のミッションを形にするために自らを進化させよう。社会に対して自分の声を届けよう。キラキラした未来のために、違った意見の人達の話や聴き、ポジティブな発想から始まる人生を歩んでください。

仲條さん自身の経験から出てくる言葉は、後輩達にしっかりと伝わっていた。講演が終わったあと、世界に飛び立とうとする3年生が直接相談に来るなど、生徒達にとっては大いに刺激になったようである。

また、会場(体育館)には、生徒だけでなく恩師の川内(飯島)恵美子先生や同級生も集まり、講演後の応接室は談笑の場となった。



総合建設業

## 阿部建設株式会社

代表取締役 阿部 典義 (高18回)

本社/〒289-2504 千葉県旭市二の528番地  
TEL 0479(62)1221 FAX 0479(63)7171  
関東支店/〒260-0002 千葉県千葉市中央区旭町 24-8  
TEL 043(225)3730 FAX 043(225)4850  
住宅事業部/旭ミサホーム/〒289-2504 千葉県旭市二の2119-1  
TEL 0479(63)7633 FAX 0479(63)7644  
干潟リサイクル工場/〒289-0501 千葉県旭市清和乙 662  
TEL 0479(68)3420 FAX 0479(68)4756  
URL : <http://www.abeken.co.jp>

地域の皆さまへ

健康と笑顔をお届けします

## 毎日薬局

本社：匠瑛市八日市場イ 2411  
<http://www.mainichi1954.com>

# お悔やみ申し上げます

ご遺族もしくは関係者からご連絡をいただいた方です。  
(平成28年10月31日受付分まで)  
会員の訃報について、事務局まで情報をお寄せください。

- ◆**旧職員**◆
  - 石毛(米本)桂子(旧職員) 平成28年8月18日逝去
  - 山口廣雄(中17) 平成27年1月7日逝去
  - 八馬(大橋)勝二(中18) 平成27年11月4日逝去
  - 伊藤哲(中21) 平成27年11月1日逝去
  - 瓜生滋(中21) 平成27年9月3日逝去
  - 押尾操(中21) 平成28年4月29日逝去
  - 吉野昭吾(中21) 平成27年6月12日逝去
  - 平山保彦(併1) 平成27年9月2日逝去
  - 林雄吉(併2) 平成27年11月26日逝去
  - 伊藤光雄(高1) 平成27年6月12日逝去
  - 四日市清(高2) 平成26年7月逝去
  - 伊藤昭雄(高3) 平成28年4月1日逝去
  - 石毛正義(定昼1) 平成27年8月13日逝去
  - 越川幸史(定昼1) 平成27年10月18日逝去
  - 景山勝彦(高6) 平成28年1月13日逝去
  - 並木良雄(高6) 平成27年5月逝去
  - 仲條(平野)安正(定昼2) 平成28年5月17日逝去
  - 須郷誠一(高7) 平成27年7月11日逝去
  - 並木俊雄(高7) 平成27年10月5日逝去
  - 石橋義三(高8) 平成27年10月5日逝去
  - 谷下田征人(高8) 平成27年2月19日逝去
  - 江波戸俊夫(定昼5) 平成27年2月3日逝去
  - 小関大(高10) 平成27年10月25日逝去
  - 高橋(山崎)勇(高10) 平成25年7月6日逝去
  - 佐藤(郡司)久子(高12) 平成27年4月10日逝去
  - 及川孝二郎(高14) 平成27年4月逝去
  - 宇野(高橋)文子(高14) 平成27年11月24日逝去
  - 鶴見和子(高14) 平成28年2月7日逝去
  - 青柳勝夫(高16) 平成27年5月3日逝去
  - 向後榮治(高17) 平成26年6月4日逝去
  - 土屋均(高19) 平成28年2月19日逝去
  - 菅野(下田)芳枝(高21) 平成26年2月19日逝去
  - 椎名泰三(高26理) 平成28年2月3日逝去
  - 土屋浩一(高27普) 平成27年10月5日逝去
  - 越川登志子(定夜24) 平成27年10月5日逝去
  - 宮本雅夫(高50普)
- ◆**会員**◆
  - 萩原侃(中6) 平成8年2月22日逝去
  - 大里庄治郎(中8) 平成26年9月12日逝去
  - 林浩平(中8) 平成26年8月5日逝去
  - 川口(宇井)重夫(中10) 平成28年7月10日逝去
  - 戸村(木内)市郎(中10) 平成26年11月逝去
  - 岩瀬利郎(中12) 平成27年12月18日逝去
  - 石毛祐二(中13) 平成27年1月15日逝去
  - 林力(中17) 平成27年11月9日逝去

## 匝瑳高同窓会 検索

### ご覧ください 同窓会ホームページ

～ 会員登録で広がる交流の輪 ～

匝瑳高校同窓会のホームページをご存知ですか？  
同窓会員の「集いの広場」として開設しているホームページは、会員同士の情報交換の場としてご利用できます。

また、会員登録を行うと自ら情報を発信することも可能です。

皆さんもホームページを活用し、インターネットでつながる同窓の輪を広げてみませんか。



### ★おめでとうございます★

- ◆長寿長老杖 江波戸 寛(高9)
- ◆旭日小綬章 堀江 はつ(高14)
- ◆瑞宝小綬章 高橋 俊雄(高10)
- ◆瑞宝双光章 柴田 洋(高9)
- ◆瑞宝単光章 佐久間早苗(高9)  
太田 康晴(高21)
- ◆紫綬褒章 石橋 忠良(高18)

※ 受章(賞)についての情報を事務局までお知らせください。

## 広告原稿を募集しています!

お問い合わせは事務局まで...

千葉県立匝瑳高等学校同窓会事務局  
〒289-2144 千葉県匝瑳市八日市場イ1630  
TEL. 0479-72-1541 FAX. 0479-73-6146

## 各種ご宴席・同窓会承ります。

# 成田ビューホテル

〒286-0127 千葉県成田市小菅700  
TEL:0476-32-1111

取締役 遠藤 忠義(高21回)



**◆同窓会費とは◆**

会費は1年間1,000円です。30年間分3万円が終身会費です。年会費納入者下欄の数値は、今回の納付年数となります。納入書はホームページから入手できますので、ご協力をお願いします。

※平成27年10月1日～平成28年9月30日受領分

**終身会費納入者**

- |              |             |             |              |              |              |             |              |              |              |             |             |             |             |             |            |
|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 岩瀬 富久子 (高16) | 吉野 直子 (高15) | 林 緑 (高14)   | 小川 典子 (高13)  | 藤田 洋子 (高12)  | 山崎 あさ子 (高11) | 原口 古子 (高10) | 林 泰弘 (高9)    | 佐久間 敏雄 (高8)  | 石橋 恒男 (高7)   | 飯倉 照親 (高6)  | 浅野 紀夫 (高5)  | 宇井 久美 (高4)  | 柴田 忠男 (高3)  | 青柳 敬子 (高2)  | 青柳 敬子 (高1) |
| 中山 滋子 (高23)  | 林 一夫 (高22)  | 伊藤 正樹 (高21) | 高橋 セイ子 (高20) | 小俣 みち子 (高19) | 青山 清 (高18)   | 椎名 義治 (高17) | 松山 美恵子 (高16) | 清水 よし江 (高15) | 伊藤 秀秋 (高14)  | 来栖 匡 (高13)  | 大竹 延子 (高12) | 阿部 孝 (高11)  | 及川 博 (高10)  | 並木 淳 (高9)   | 福田 安子 (高8) |
| 鈴木 久美子 (高33) | 石田 泰 (高32)  | 飯島 紀子 (高31) | 佐保 隆司 (高30)  | 高橋 孝二 (高29)  | 篠村 知子 (高28)  | 熱田 幸子 (高27) | 前林 和彦 (高26)  | 内山 健 (高25)   | 山崎 智恵子 (高24) | 山崎 裕之 (高23) | 中西 美幸 (高22) | 大木 真樹 (高21) | 赤座 由樹 (高20) | 伊東 正人 (高19) | 林 秀紀 (高18) |

**年会費納入者**

- |                |                |                 |                |                 |                |                |                |               |                 |                |                |               |               |                 |                |                |               |               |                |               |               |              |              |                |               |               |              |
|----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|--------------|--------------|----------------|---------------|---------------|--------------|
| 太田 勝己 10 (高16) | 香取 正英 10 (高15) | 江波 戸武男 10 (高14) | 嶋田 勝己 10 (高13) | 菅谷 良民 1 (高12)   | 小野 紗耶子 5 (高11) | 関 満 5 (高10)    | 堀内 周子 10 (高9)  | 宇井 佳子 10 (高8) | 大木 勲 10 (高7)    | 大木 行男 2 (高6)   | 木内 修 5 (高5)    | 徳元 国子 3 (高4)  | 安達 幸代 10 (高3) |                 |                |                |               |               |                |               |               |              |              |                |               |               |              |
| 村田 勝之 10 (高27) | 小川 一夫 10 (高26) | 市原 繁 10 (高25)   | 野崎 景子 10 (高24) | 磯部 俊光 10 (高23)  | 平尾 清江 10 (高22) | 寄山 祐三 10 (高21) | 平山 孝雄 10 (高20) | 熱田 隆 10 (高19) | 小川 博之 10 (高18)  | 有原 茂 10 (高17)  | 菅谷 たか子 5 (高16) | 桜井 隆宏 1 (高15) | 石毛 啓 5 (高14)  | 玉井 英子 10 (高13)  | 松崎 菊江 5 (高12)  | 鈴木 克己 20 (高11) | 佐藤 輝俊 1 (高10) | 大木 晃 1 (高9)   | 大木 勝章 1 (高8)   | 大木 勝章 1 (高7)  | 大木 晃 1 (高6)   | 大木 晃 1 (高5)  | 大木 晃 1 (高4)  | 大木 晃 1 (高3)    | 大木 晃 1 (高2)   | 大木 晃 1 (高1)   |              |
| 伊藤 正好 1 (高28)  | 伊藤 光信 5 (高27)  | 伊藤 博之 5 (高26)   | 渡邊 錦一 5 (高25)  | 宮内 あけみ 10 (高24) | 大川 信一郎 1 (高23) | 伊藤 栄美子 5 (高22) | 伊藤 博之 5 (高21)  | 渡邊 錦一 5 (高20) | 宮内 あけみ 10 (高19) | 大川 信一郎 1 (高18) | 伊藤 栄美子 5 (高17) | 伊藤 博之 5 (高16) | 渡邊 錦一 5 (高15) | 宮内 あけみ 10 (高14) | 大川 信一郎 1 (高13) | 伊藤 栄美子 5 (高12) | 伊藤 博之 5 (高11) | 渡邊 錦一 5 (高10) | 宮内 あけみ 10 (高9) | 大川 信一郎 1 (高8) | 伊藤 栄美子 5 (高7) | 伊藤 博之 5 (高6) | 渡邊 錦一 5 (高5) | 宮内 あけみ 10 (高4) | 大川 信一郎 1 (高3) | 伊藤 栄美子 5 (高2) | 伊藤 博之 5 (高1) |



**編集後記**

会報50号の発行にあたり、新体制で編集に臨みました。会報を通して、母校や同窓会、さらには同窓生の現状を十分ご理解いただけるように努めました。

今回は、各支部ならびに同期の話題の他に、同窓生からも原稿をお寄せいただき、初めて「OB寄稿」として掲載いたしました。

執筆にご協力いただいた皆様、御礼申し上げます。

編集委員長 平山孝雄

※紙面の都合で、原稿すべてを掲載できません。ご了承ください。

**《第50号編集委員》**

- |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 平山 孝雄 (高24) | 馬淵 英夫 (高10) | 川口 克己 (高15) | 太田 和利 (高27) | 塚本 貢市 (高30) | 高橋 康二 (高31) | 武田 英樹 (高32) | 小泉 泰孝 (高39) | 宇野 典男 (高30) | 齊藤 元久 (高24) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
- (事務局長/高30)
- (会長/高24)